

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（5月16日-22日）の新規陽性者数は13,879人（先々週14,976人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は0.96 [最小値0.44-最大値1.23]、このうち那覇市は0.98 [0.88-1.17]でした。また、宮古は1.11 [0.82-1.29]、八重山は1.09 [0.68-1.60]でした（図1）。大型連休後も全県的に陽性者数の増加が続いています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部1,044人（先々週987人）、中部5,148人（先々週5,394人）、那覇市2,586人（先々週2,990人）、南部3,867人（先々週4,397人）、宮古764人（先々週778人）、八重山437人（先々週417人）でした。那覇市と南部は減少に転じています（図2）。

県外からの渡航者は27人（先々週49人）でした。渡航元は、神奈川県が最多で7人、埼玉県4人、福岡県3人と続き、14府県にわたります。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満2,698人（20%）と最多であり、10代2,377人（17%）、30代2,160

人（16%）と続きます。性差では、20歳未満で男性が多いのに対して、20歳以上では女性が多いことは変わりありません（図3）。

推移をみると、10代、20代は減少が続いている一方で、10歳未満は増加が続いています。高齢者とくに90歳以上は高止まりしています（図4）。

入院患者数推移

先週の新規入院患者数は215人（先々週214人）であり、70歳以上の高齢者が132人（61%）を占めています（図5）。

入院患者数は先週末時点で475人（5月15日時点442人）と増加が続いており、このうち酸素投与など中等症患者についても235人（5月15日時点201人）と増加しています。気管挿管など重症患者は2人と減少しています（5月22日時点6人）（図6）。

この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末時点で78施設394人（5月22日時点306人）と急速に増加しています（図7）。

先週末時点における確保病床の病床占有率は、沖縄本島51.6%（275/533）、宮古地区42.4%（28/66）、八重山地区11.4%（5/44）となっています。先週より病床占有率が低下しているのは、確保病床を有する重点医療機関以外の一般医療機関における入院患者数が180人（36.4%）と増加しているからです。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、大型連休をきっかけに感染が再拡大していましたが、その速度は鈍化し、一部の地域では減少へと転じています。しかし、高齢者が占める割合が上昇しており、大型連休における感染者からの二次感染が、家庭内や高齢者施設などで拡がりつつあるとも考えられます。

新規陽性者数が減少に転じたとしても、今後、さらに高齢者へと感染が拡大した場合には、治療のための病床が確保できなくなる恐れがあります。その場合には、コロナ感染者に限らず必要な医療が提供できなくなります。いまは誰しもが感染しているかもしれないと考え、引き続き、重症化リスクのある高齢者の家を訪問したり、一緒に食事をとったりするのを控えてください。

高齢者施設での集団感染が続いており、発生時に感染対策の指導や巡回診療を行っている施設支援班の活動が限界となっています。すべての施設に支援に入ることは、事実上、困難な状況となりつつあります。施設における集団感染予防について、さらなる対策をお願いします。4月中に感染者が発生し、支援が行われた社会福祉施設 86 施設の集計によると、初発例のうち施設職員が 78% を占めており、入居者は 6%に過ぎませんでした。また、最終的な感染者数は、入居者 283 人、施設職員 187 人と多くの職員における感染が確認されています（図8）。

高齢者施設における集団感染を防ぐためにも、感染している職員が勤務しないよう、毎朝の体温と症状の確認を徹底してください。また、症状を認める職員が申告しやすく、かつ交代要員の確保を（大変だとは思いますが）宜しくをお願いします。加えてデイサービス利用者の症状確認も徹底してください。

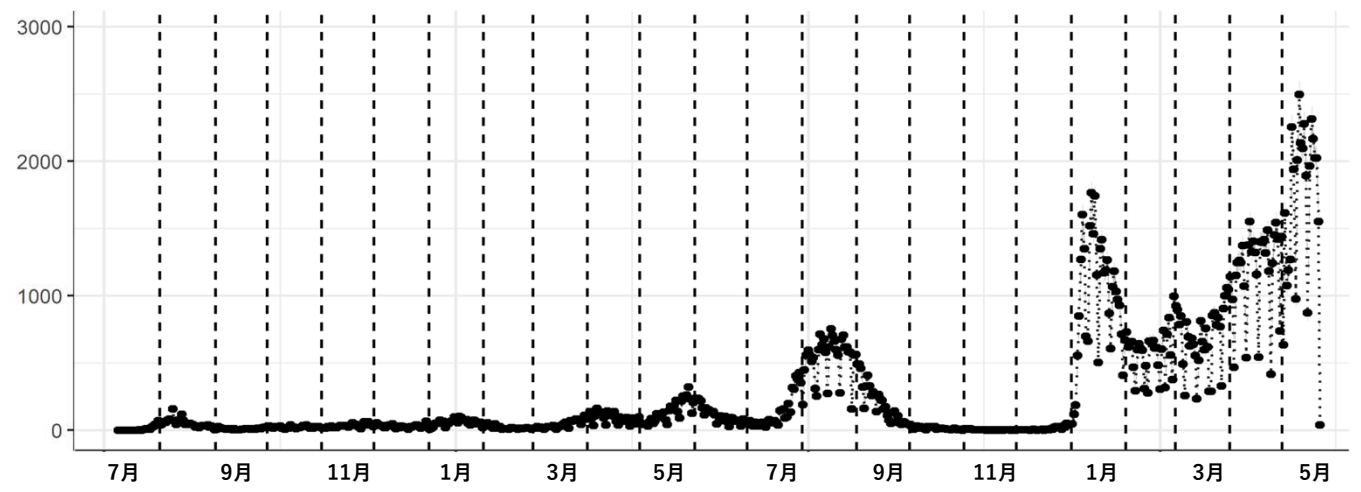
沖縄県では、現在も高いレベルでの流行が続いています。今週の新規陽性者数は 10,000-14,000 人となり、今週末までに入院患者数は 440-500 人

に至り、うち重症患者数は 5 人前後と見込まれます（図9）。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数
直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

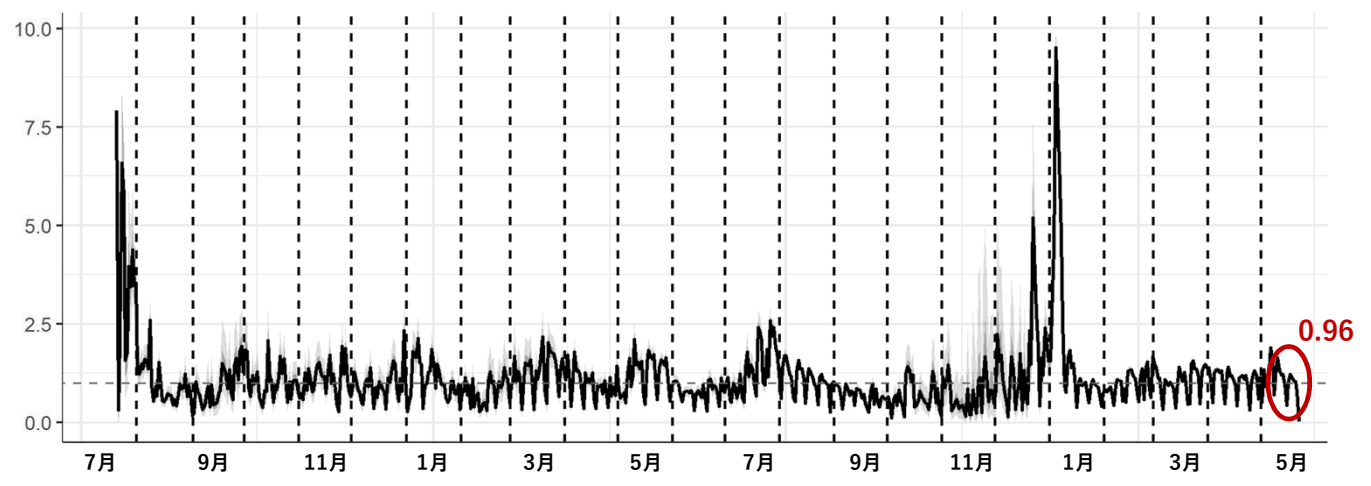


図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

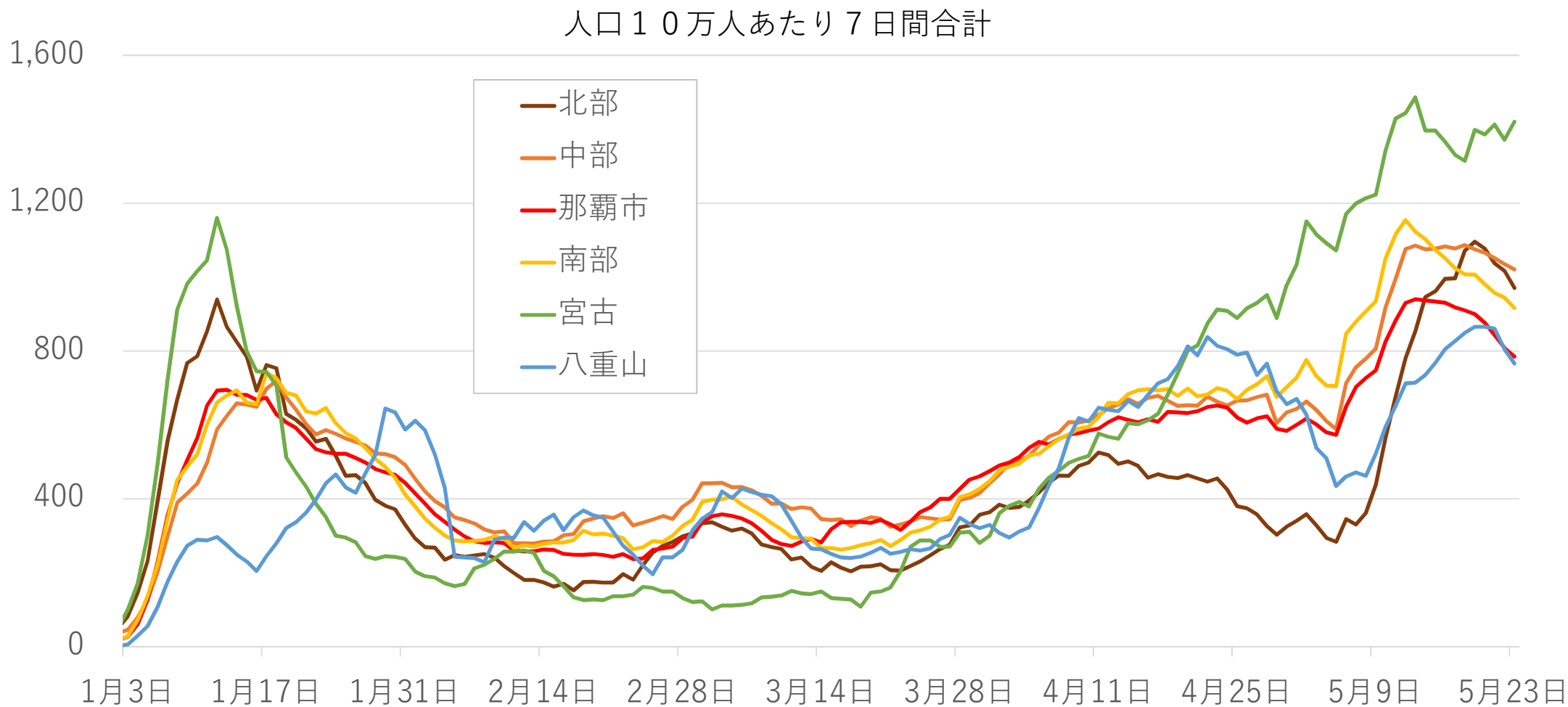


図3 性年齢階級別に見る陽性者数 (5月16日~22日)

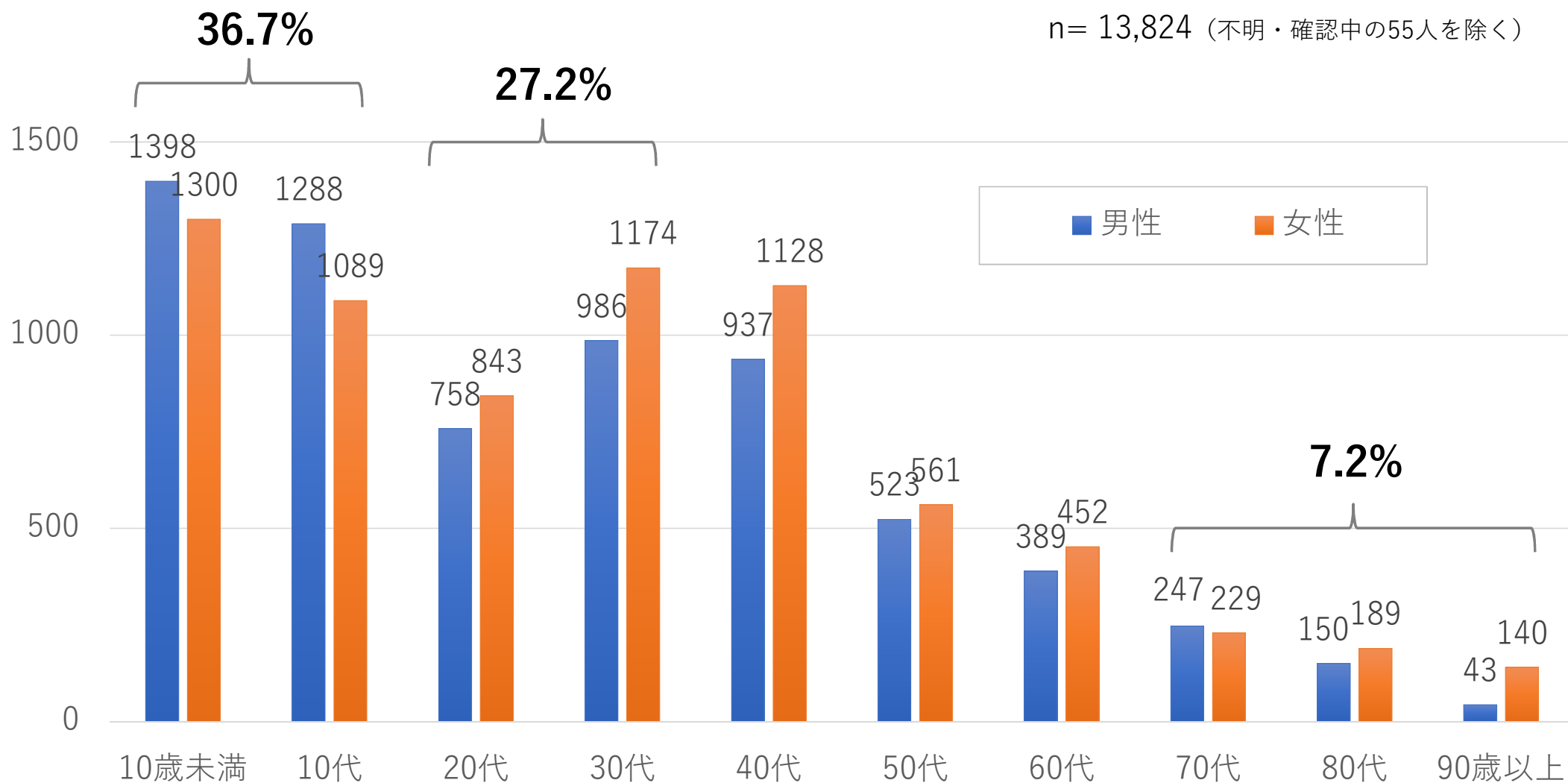


図4 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

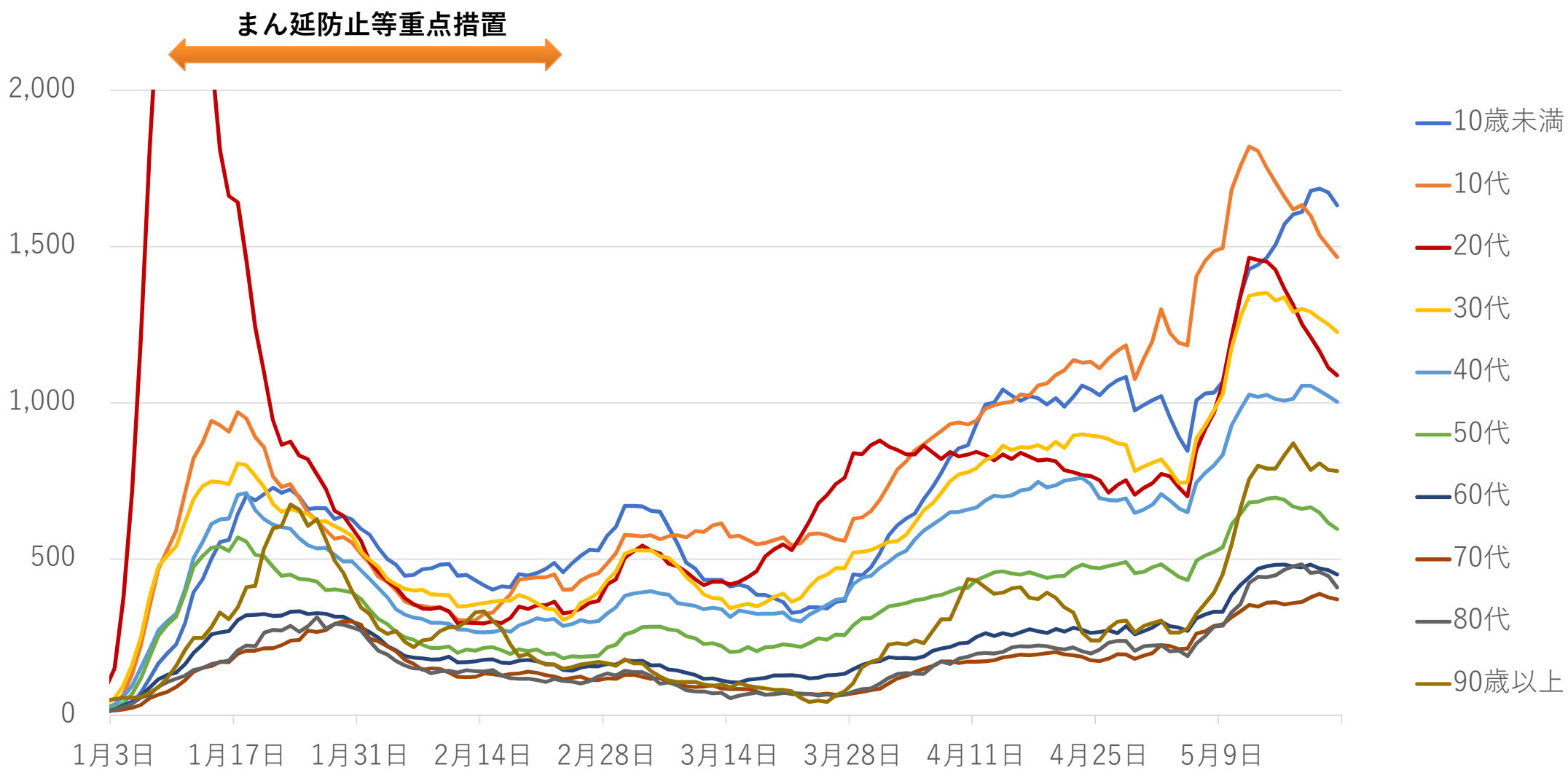


図5 新規入院患者の年齢分布 (5月16日~22日)

n= 214 (不明・確認中の1人を除く)

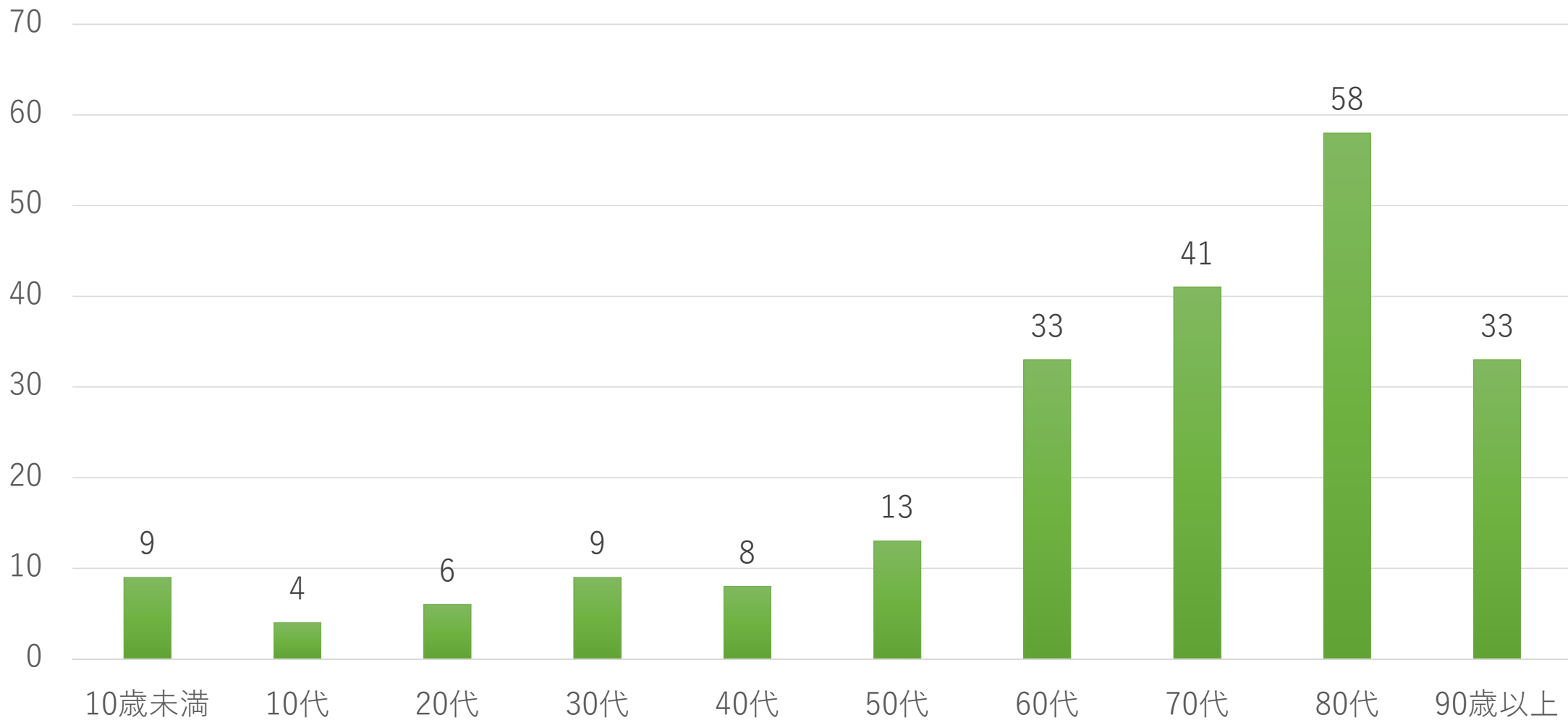


図6 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

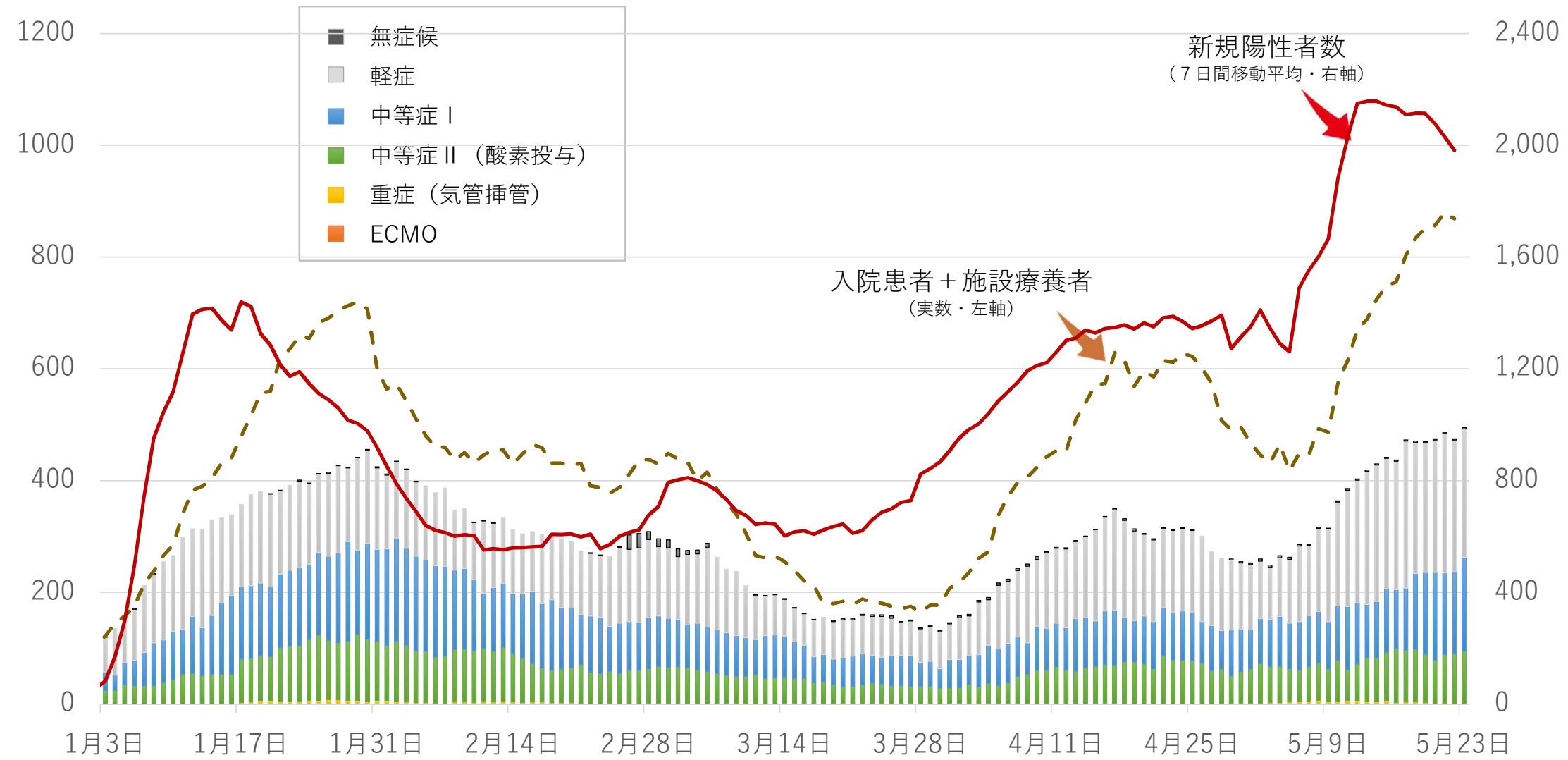


図7 社会福祉施設における施設内療養者数

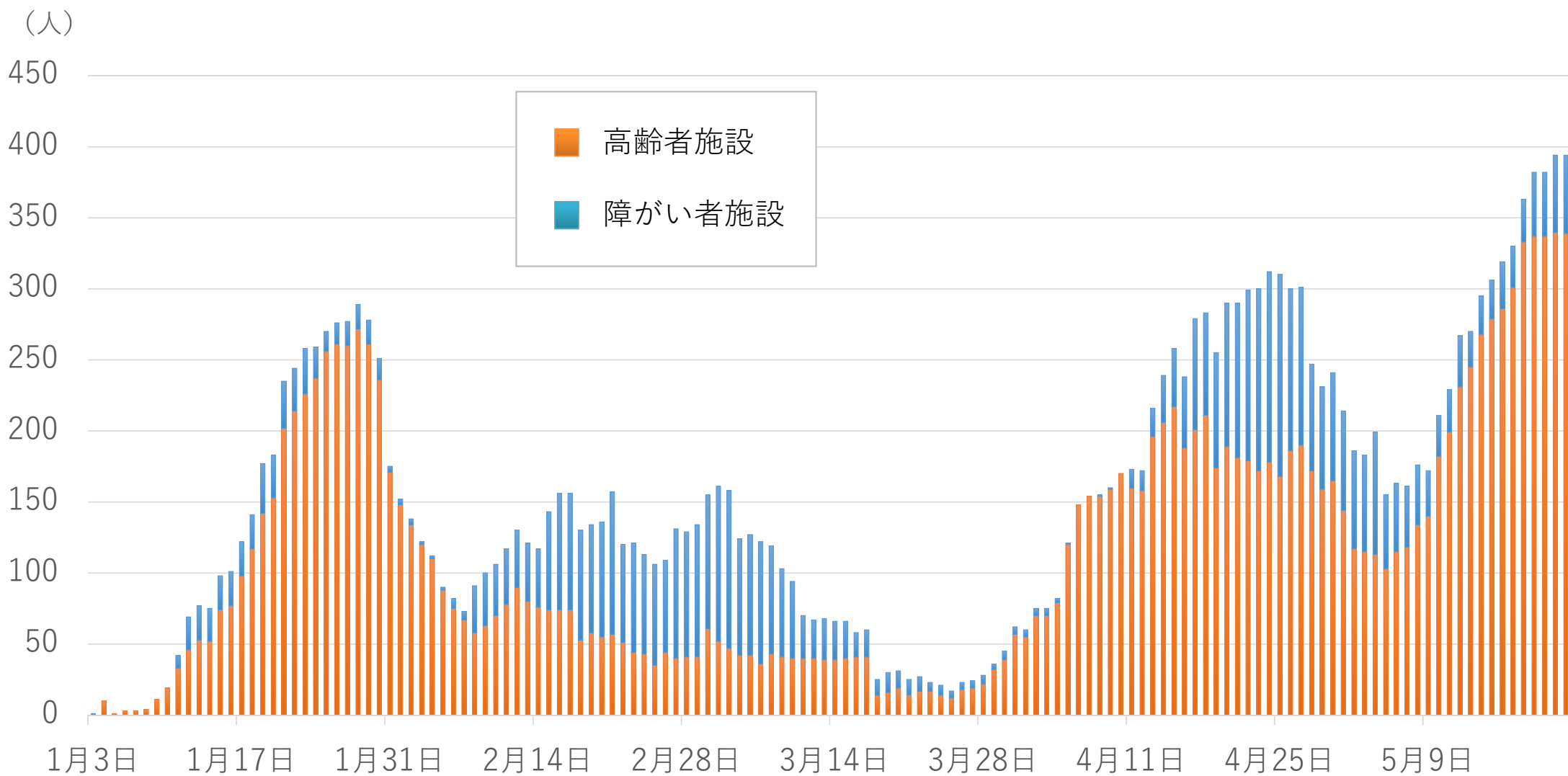
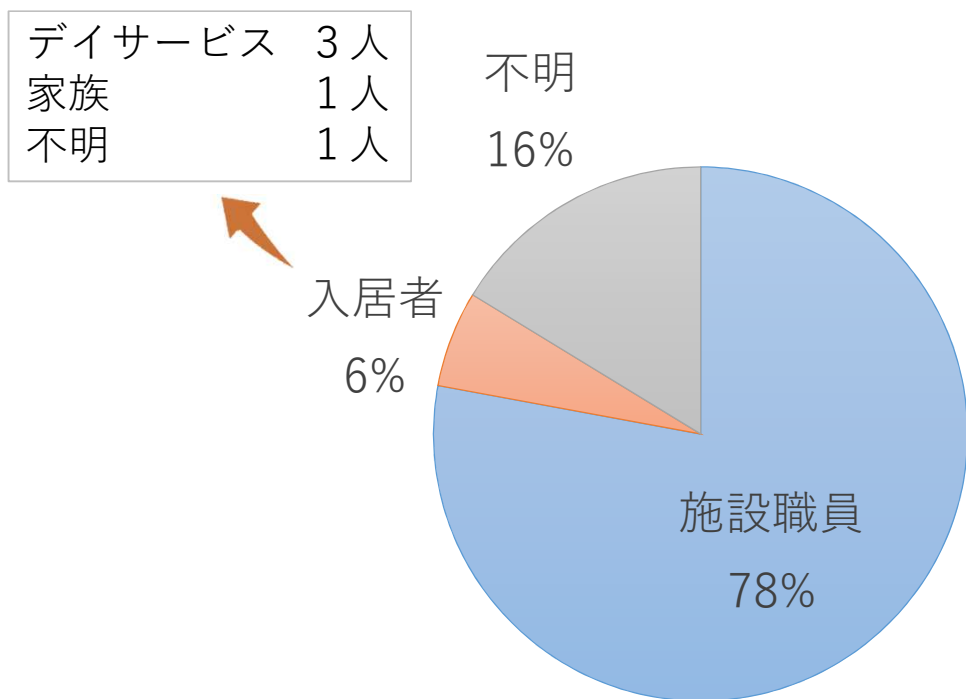


図 8 社会福祉施設への支援介入状況 (2022年4月)

フォロー終了した社会福祉施設数 86施設

初発例と感染経路



最終的な感染者数

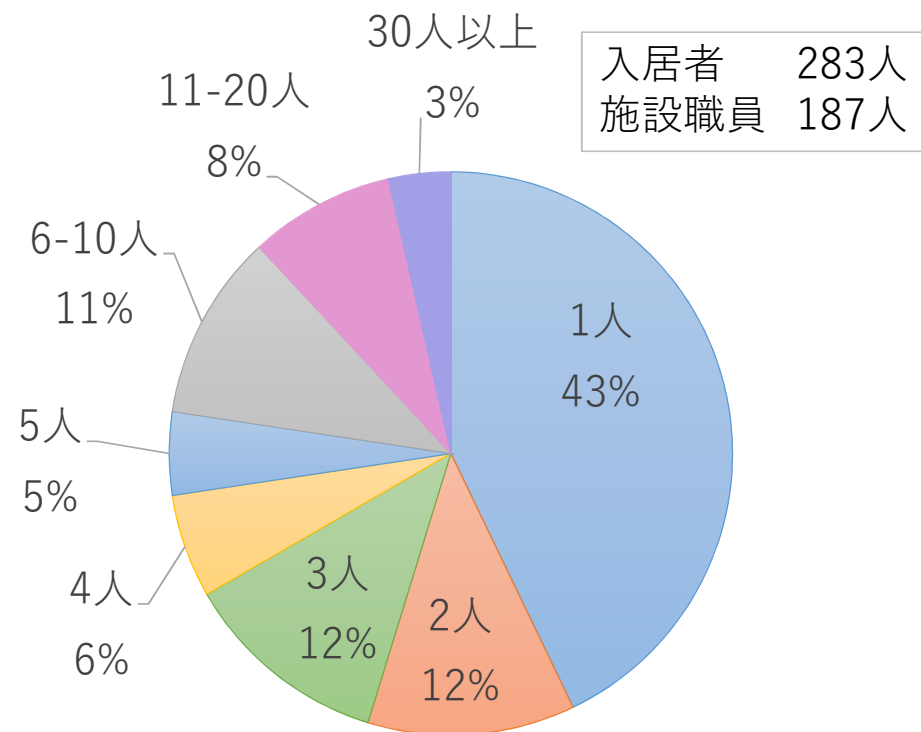


図9 今後1週間（5月23日-29日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

| 実効再生産数 | 新規陽性者数（確定日） | | | 入院患者数※ | | | 重症患者数※ | | |
|------------|--------------|---------------|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 0.5 | 1.0 | 1.5 | 0.5 | 1.0 | 1.5 |
| 北部 | 525 | 1,058 | 2,131 | 37 | 46 | 62 | 0.3 | 0.4 | 0.6 |
| 中部 | 2,596 | 5,228 | 10,528 | 119 | 157 | 221 | 1.8 | 2.3 | 3.1 |
| 那覇市 | 1,328 | 2,675 | 5,387 | 99 | 130 | 181 | 1.6 | 2.0 | 2.6 |
| 南部 | 1,934 | 3,894 | 7,842 | 90 | 120 | 169 | 0.9 | 1.3 | 1.9 |
| 宮古 | 387 | 780 | 1,571 | 29 | 36 | 49 | 0.2 | 0.4 | 0.5 |
| 八重山 | 230 | 464 | 934 | 13 | 17 | 25 | 0.2 | 0.2 | 0.3 |
| 合計 | 7,001 | 14,099 | 28,392 | 386 | 507 | 707 | 5.0 | 6.6 | 9.2 |

※ 5月29日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会